

ぽこあぽこ

新年のご挨拶

理事長 下村 卓司

新年あけましておめでとうございます。

今年のお正月は、スーパーエルニーニョの影響からか非常に暖かい新年となりました。初詣や初日の出を拝むには良かったかも知れませんが、ここ数年の地球規模の変化は凄まじく、自然界の異常や中東紛争など人類の存続を脅かすような事件や事象が数多く報告されています。先日も近隣国である北朝鮮が水爆実験を成功したとの報道がありました。何の為の実験なのでしょう？人類は皆兄弟というフレーズが昔流行りましたが、まさに今世界のリーダー達に聞かせたいフレーズです。

地球あつての我々人類であり、人類以外の生命があつての人類であることをもつと理解すべきではないでしょうか。世界は、第2次世界大戦が終結し70年が経過して、世界の勢力図がアメリカ一国集中から中国やロシアの台頭や、イスラム国の勢力拡大により異常なまでの緊張状態が続いています。既得権を守りたいアメリカと、それを良しとしない対抗勢力が次代の覇権争いをしています。私を含め人間とは浅はかな生き物であり、既得権を手放すのを嫌う生き物だだと思います。それは日本の官僚や政治家にも言える事であり、最近の財務省や官邸の横柄な態度は目に余るものがあります。無駄を省こうとせず、消費税を如何に上げるかのみを考えているようにしか見えません。他省庁や多くの政治家も既得権を守りながら、新たな予算獲得の為にどうするかを考えています。厚生労働省も同様です。特に労働行政がひどいもので、つまらない予算を付け、他人任せに運営させているので補助金搾取が横行しています。少し前にも新聞報道されていましたが氷山の一角です。

結局、権力を手に入れた人は既得権やお金に代表される欲に振り回され、それを守る為にはなり振り構わず行動をするものなんです。

そんな異常状態の昨今であるが故に、人に関わる仕事をする我々以和貴会は、万物に日々感謝し、生かされている喜びを感じながら毎日を生きてゆきたいなと思う新年（信念）であります。

特に今年は当法人にとり、今後を左右する大切な年度となります。28年度方針は「遠慮」く遠きを慮るに決めました。あらゆる事象に目を配り、目の前の事に左右されず、遠くを見据えて今やるべきことを着実に進める。そこには、他者に対する思いやり（遠慮）を込めて丹念に丁寧（万事入精：27年度方針テーマ）着実に物事を推し進める事としました。

この方針は、以和貴会に与えられた社会的使命を全うする為のテーマであり、それは不変で永遠のテーマでもあります。国の政策や方針がどう変わろうと、既得権にすぎることなく柔軟に対応し、以和貴会に関わる総ての人々の暮らしが少しでも豊かになるように誠心誠意努力して参る所存です。今年も以和貴会に益々のご支援とご協力をお願い申し上げます。



冬期施設内研修

12月28日



今年度の冬期施設内研修は夏期に続き『自閉症支援』がテーマです。

夏期施設内研修は実際のご利用者様を通して課題の評価を行い、それを基に自立課題の作成を実行する実践的なものでありました。そのおさらいを実施し、更なる自閉症支援理解の場となるよう、講師として医療福祉センターの大中りよ子先生（１）をお迎えし、講義を行っていただきました。

大中先生にはゆらくの里における日々の自閉症支援の取り組みについてコンサルテーションをお願いしていることから、よりゆらくの里に特化した内容の講義になったと考えております。自閉症の特性理解から評価、評価をもとにした構造化(合理的配慮)に至るまでのプロセスの重要性、また実例の紹介によって、今回の講義が支援現場でどう活かされているかを受講者それぞれで感じる事の出来るものになりました。

2016年4月に施行される「障害者差別解消法」(２)により、この合理的配慮を可能な限り提供することが行政・学校・企業などの事業者に求められるようになります。ゆらくの里においても自閉症者への合理的配慮は責務と考え、冬期の施設内研修テーマとなりました。

ゆらくの里を御利用になる自閉症者にとっての暮らしやすさやその人らしさに繋がるよう、我々支援者は専門性の向上に尽力する大切さを感じております。

ゆらくの里 支援員 浦林 信二

- 1・・・大阪府障害者福祉事業団 医療福祉センター すくよか支援部長大中りよ子先生には、以前より当法人が参加してきた自閉症eサービスにおいてお世話になっております。
- 2・・・障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項や、国の行政機関、地方公共団体等及び民間事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置などについて定めることによって、すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的とした法律。



法人内活動紹介 ～芸術活動～

法人の通所事業所であるワークサポートセンター今人・我楽のご利用者様を対象に、芸術活動の支援を始めて14年目を迎えました。皆様が芸術活動を通して幸せな道を歩まれるようにと精進してまいりましたが、平成27年度の活動を振り返ってみて、それぞれの方が自己の表現を大切にしながら実力を発揮できた、最良の年になったと感じています。

■ 今年度参加した展覧会等一覧

○「ちょっとみてみて！＝福祉施設職員が出会った表現と日常展＝」

この展覧会は、何気ない施設の日常の中で生み出される作品にスポットライトをあてた試みで、厚生労働省のモデル事業として実施されました。この企画は新聞にも大々的に掲載され、大きな反響を呼びました。



三谷晃平さん
my favorite melon...
(ちょっとみてみて展)

○「上野の森美術館 日本の自然を描く展」

こちらの展覧会はプロ・アマチュアの区別なく、絵を描くことが好きな方を対象にした公募展で、今回で2度目の入選を果たしました。



西谷光世さん
うみのいきもの
(二科展デザイン部)

○「第100回二科展 デザイン部」

この公募展は、開催されて100年目という歴史があり、プロのデザイナーが切磋琢磨し研鑽をつんでいます。このような公募展でご利用者様の作品が、障害の有無に関わらず一定の評価を得たところに大きな意義があります。今回で3回目の準入選であり、ご家族の皆様にも大変喜んでいただくことができました。



内田千恵さん
flowers
第13回ポストカード
デザイン大賞

○「第13回全国ポストカードデザイン大賞」

二科会デザイン部（関西地区）と産経新聞社主催で行われる公募展で、2015年も2名の方が入選されました。1枚のハガキに自分の世界観を表現する公募展で、オリジナリティ溢れる作品を大阪市立美術館で展示していただくことができました。

○「ideaの島々」

昨年9月にアピタ西和店にて社会福祉法人在友会・NPO法人出発（たびだち）のなかまの会と合同で展覧会を開催しました。今回、自分たちで展覧会を企画するのは初めてでしたが、「ちょっとみてみて！...」展で学んだ展覧会開催のノウハウを活かすことができました。

○「近畿大学医学部附属奈良病院 Art with MESSAGE」および「奈良地方・家庭裁判所での展示」

秋から冬にかけて厚生労働省のモデル事業として開催された展示会で、普段アートには無縁と思われる場所で多くの方に芸術に触れていただき、とても喜んでいただくことができました。

植田隆介さん
vegetable
近畿大学医学部附属
奈良病院



私たちスタッフは、ご利用者様が芸術活動を通し、表現することで生きる喜びを見出し、喜びの多い幸せな人生を歩まれるよう、全力でサポートしていく所存です。また、法人内に留まらず、多くの方と芸術の喜びや幸せを共にできるように取り組んでいきたいと思ひます。

この芸術活動は、皆様に幸せな道のりを歩んでいただけるようにするための道づくりであると考えていますが、まだまだ道半ばです。これからも努力してまいりますので、何とぞ応援よろしくお願い致します。

アート活動「アトリエ それいゆ」
岡橋 三起子

《現在進行形の展示ご紹介》

「HAPPY SPOT NARA 2015-2016」

今年度で5回目となるコミュニティーアートフェスティバル。いろいろな企画があるなかで、アートを日常の中で楽しむプロジェクト「プライベート美術館」では、奈良県内の障害のある人の作品約170点をならまち界隈の店舗や町家で展示します。お見合い展示を経てどの作品をどこで展示するかが決定されます。以和貴会ご利用者様の作品も展示されていますので、まち歩きとともに楽しみください。(2016年1月20日～2月7日)



プライベート美術館お見合い展示

今人・我楽 一泊旅行

10月22日・23日

今年の一泊旅行は大阪方面へと繰り出しました。

1日目は海遊館へ行きました。みなさん普段は見ることが出来ない魚たちを見て、また実際に生き物に触れてとても楽しんでおられました。夕方は早めに大江戸温泉物語（箕面温泉）へ向かい、みんなで入るお風呂や美味しい食事を楽しみながら充実した時間を過ごしていただきました。



2日目は旅館で朝ご飯のバイキングを食べてお腹をいっぱいにし、待ちに待ったユニバーサルスタジオジャパンへ。限られた時間ではありましたが、日常とは違う世界を感じることができた皆さんの普段よりも素晴らしい笑顔が見られたことがとても印象に残っています。

こうした楽しみがあるからお仕事も頑張れる！そう思える2日間でした。

香芝ふれあいフェスタ2015

11月1日

今年も通所事業所として「香芝ふれあいフェスタ 2015」に参加いたしました。今人はフェリーチェのパン、そーじやの綿菓子、我楽はモンステラの焼菓子、SORAの洋風おやきをそれぞれ販売しました。すみれの里と我楽さぼーと班は余暇活動として参加しました。



さわやかな秋晴れの中、ふれあいフェスタ20周年の今年是一般の方々も大勢参加されていました。飲食ブースでは混雑もありましたが、各販売部署の売上は順調で、パン・綿菓子・洋風おやきは昼過ぎには完売し、焼菓子もほとんど売れ残り無く、多くのお客様に購入して頂く事が出来ました。

余暇活動として参加されたご利用者様もスタッフと一緒に思い思いにフェスタ会場を見て回り、買い物や飲食を大いに楽しめました。ご利用者様に有意義な時間を過ごして頂く事が出来たことをうれしく感じています。

今後も香芝市で活動する事業所として「ふれあいフェスタ」を盛り上げられるよう、日々の業務を通じて地域の皆様に貢献していきたいと思ひます。

奈良県障害者作品展

12月4日～12月10日



第43回奈良県障害者作品展、絵画部門でゆらくの里の宇野憲吾氏が描かれた『鳥のように飛んでみたい』がみごと優秀賞を受賞されました。

鉛筆で細かく細部まで描かれた建物や高層ビル、高速道路、そしてバックには雄大な富士山が水彩絵の具と色鉛筆で色付けられた大作です。この街に住む人々の生活の様子が思い浮かぶような、とても素晴らしい出来栄です。3か月の間毎日熱心に描かれ、やっと完成しました。

今回、優秀賞をいただいた事で今後の作品制作の励みにも繋がったと思います。今後も数多くの素晴らしい作品を仕上げてくださることと思います。みなさん楽しみになさっていて下さい。

クリスマスパーティー ～今人・我楽・すみれの里～

12月13日

今年度より夏フェスを法人全体で行うイベントとして開催し、クリスマス会は各事業所で行う事となったので、今人・我楽・すみれの里の通所3事業合同で第1回クリスマスパーティーを開催いたしました。

今回のクリスマスパーティーでは「利用者様が主体」であることを念頭に企画し、司会を今人の利用者様をお願いいたしました。

「賞金目指して大会」では、力の入った演技で観客を大いに楽しませたすみれの里生活班のダンス「ドラゴンボール」が第1回の優勝を飾りました。「ティータイム並びにお楽しみ大抽選会」では、ご利用様がシフォンケーキにそれぞれ思い思いのデコレーションをして楽しめました。出来上がったケーキはあっという間に皆さんのおなかの中へ。ティータイム中には大抽選会を開催し、一人一人にプレゼントを手渡しました。



プレゼントを受け取られた利用者様は嬉しそうに中身を確認しておられました。そのほか「スタッフハンドベル」を披露して楽しんでいただきました。

初めての開催のせいかスムーズにいかない部分もありましたが、笑顔あふれるひとときを持てたことは、大成功だったと思います。司会を担当して下さった利用者様も、最後まで素晴らしい司会を務めあげて下さいました。来年度以降は今回の経験をもとに、誰もがもっと楽しめるイベントを開催したいと思います。

クリスマス会 ～ゆらくの里～

12月18日

昨年度迄は、香芝市のふたかみ文化センターにて12年間以和貴会全体でのクリスマスパーティーを開催していました。12年ぶりのゆらくの里でのクリスマス会開催にあたり、住み慣れた環境でのアットホームなクリスマス会を目指しました。

昼食はご利用者の皆さんが大好きなお寿司。管理栄養士・厨房チームの全面的な協力のもと、バイキング形式で提供する事が出来ました。皆さん普段の食事の時間よりもずっと良い笑顔を見せておられました。「俺はあれが良い」「私はこれにする」などと生き生きとした声が食堂内を飛び交っているのが印象的でした。

食事後は、アットホームにゆったりと過ごして頂く為に、自由参加でいぶき寮フリースペースとみのり寮フリースペースに分かれてビデオを上映しました。いぶき寮では「嵐」のライブ、みのり寮では大人気の「ベイマックス」の映画を楽しめました。

自由参加にすることで、大きな音や暗い所が苦手な方は自室でゆったりと過ごしていただくことができるなど、利用者様に各々のスタイルで参加していただくことが出来る部分は、ゆらくの里で開催するクリスマス会の最大のメリットだと改めて感じる事が出来ました。

クリスマス会は、利用者様を笑顔にすることのできるイベントの一つです。年末年始は、誰しもがウキウキする時期です。来年も利用者様のウキウキな様子ときらきらした笑顔を見ることが出来ますように。



クリスマス会 ～ 風鈴山荘 ～ 12月24日

昨年4月に開設した風鈴山荘での初めてのクリスマス会を12月24日に開催いたしました。当日は雨が心配される天候でしたが、開始時間には晴れ間も見える天気となりました。ホームパーティーのような雰囲気の中、スタッフと御利用者様が一緒に会場のセッティングや飾りつけを行い、今までの見て頂くだけのクリスマス会から、御自身で作り上げ楽しんで頂くクリスマス会となりました。

プログラムも、これまでのように日課を大幅に変更するのではなく、生活リズムを崩し情緒を乱される事のないよう、普段のスケジュールの間に組み込む形をとり、会場や出し物についても、障害特性に配慮し大きな音楽や電飾による飾りつけ、大掛かりな出し物はあえて避け、静かな空間でのクリスマス会を心掛けました。そうすることで、イベント時に情緒を乱される方や、一度退席されると会場に帰ることが困難な方にも参加して頂く事が出来ました。



当日は、クリスマスらしい食事を召し上がって頂き、サンタに扮した職員がクリスマスプレゼント(お菓子)をお配りしました。食事をしながら談笑させて頂いた時間は、これまでにない静かでゆっくりとしたひとときでした。何かと慌ただしくなりがちな年の瀬ですが、時間を忘れて心穏やかに過ごすことができました。

今人・我楽・すみれの里 お餅つき 12月28日

年末最後の行事として、すみれの里にてお餅つきを行いました。

今年は、杵と臼は使用せず、ゆらくの里より餅つき機を借りて実施しました。つきたてでアツアツのお餅に苦戦しながらも、スタッフとご利用者様で協力し、皆に美味しく食べてもらえるようにと楽しんで丸めました。

出来上がったお餅は各事業所へ配り、美味しく召し上がっていただきました。



ゆらくの里・風鈴山荘 新年会 1月8日

お正月の恒例行事となっている新年会を今年も開催することが出来ました。昨年の春に風鈴山荘が開設し、今年は二つの場所に分かれての開催となりました。

毎年恒例の昼食のお鍋は、御利用者様のニーズに応じて4種類のお鍋(水炊き・豆乳鍋・寄せ鍋・ちゃんこ鍋)から食べたいものを選んで頂きました。みなさんスタッフとともに談笑しながら楽しそうに召し上がられました。当初は熱々のお鍋に手を出して火傷をしそうになる方もおられましたが、段々と回を重ねる毎に利用者様自身が工夫されるようになり、楽しみながらお鍋を召し上がっておられる姿が印象的でした。

午後は、映画鑑賞会と志都美神社への初詣の2グループに分かれ、皆さんにお正月らしい体験を楽しんで頂きました。

年々ご利用者様の高齢化が進むにつれて、『食べる』『歩く』といった日常の動作にも介助が必要な方が増えてまいりました。そうした中でも、生活の中で『楽しみ』を持って頂けるよう日々考えながら、私達職員一丸となって今後もご利用者様に楽しんで頂ける行事を企画していきたいと考えております。



法人チャリティコンペ

11月19日

第25回以和貴会チャリティコンペを宇陀市室生の「ムロウ36ゴルフクラブ」にて開催いたしました。理事をはじめ、日頃以和貴会へご協力いただいております業者の方など96名の方々にご参加いただくことができました。



プレイ終了後の表彰式では、ご参加くださった方々への景品を奥山博康理事より授与して頂きました。チャリティへのご協力の結果、約14万円の寄付が集まりました。また、ゆらくの里へ納品いただいている多くの業者様をはじめ、皆様方からの景品の提供で充実した大会が実施できましたことを心から感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

今回をもちましてチャリティコンペの開催に一区切りを置き、多様化してきた法人運営に全力を注ぐつもりであります。今後も変わらぬ支援をご継続くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



新入職員紹介



さとう かおり (11月1日入社)
佐藤 香

しえ〜く 正職

障害者支援分野にて経験を重ねることができうれしく思っています。まだまだ力不足で勉強の毎日ですが頑張ります！



きら あけみ (11月11日入社)
吉良 明美

モンステラ工房 パート

モンステラ工房で勤務させて頂いております。笑顔を絶やさず頑張っていると思います。まだまだ慣れませんがよろしくお願いします



のなか えいこ (11月11日入社)
野中 英子

すみれの里(看護師) パート

11月からすみれの里で看護師としてお世話になっております。まだまだ経験不足ですが、頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



やすい ともゆき (1月4日入社)
安井 智之

我楽さぼーと班 正職員

1月から我楽サポートで勤務させて頂いております安井智之と申します。ご迷惑おかけすることもあるかと思いますがどうぞよろしくお願い致します。



おぐら まりこ (1月13日入社)
小倉 万里子

ゆらくの里 パート

この度ご縁がありましてゆらくの里で働かせていただくことになりました。精いっぱい頑張りますのでよろしくお願い致します。



ご利用者のために

精いっぱい頑張ります
どうぞよろしくお願い致します



白ゆり会様寄贈

12月4日



『白ゆり会』様からの雑巾の寄贈も今年で23回目となりました。タオルを提供してくださった方、一針一針心を込めて丁寧に縫ってくださった方、皆様のお心遣いに感謝しつつ法人各事業で使わせていただきます。『白ゆり会』様は法人の行事の際にいつもご協力くださっています。これからも利用者様のためにお力を貸していただきますよう、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

「賛助会員ありがとうございました」

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただきます、ご利用者のために使用させていただきます。

ゆらくの里

増尾明広、中筋廣次、高木清治、谷口融正、井上哲次、川北司郎、平尾英治、宮地恵美子、永田恵美子

地域事業

池上治人、津田貞男、滝井良次

業者ほか

明治牛乳関屋販売所 上林元成、(株)ステップワン、(株)老松園、(株)タクサン 谷本淳、テラセ訪問美容
大良水産(株) 畔上千尋

(順不同、敬称略)

「賛助会員募集」

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

あけましておめでとうございます。

新年を迎え、職員一同新たな目標を掲げ、ご利用者様にとって一日一日が充実した一年となりますよう、精一杯ご支援させていただきます。

今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

発行：社会福祉法人 以和貴会

住所：〒639-0261

奈良県香芝市尼寺616番地

編集責任者：理事長 下村 卓司

Mail：office@yuraku.or.jp

発行：平成28年1月